



JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)の採択内定について

浜松市上下水道部では、蓄積された水道技術による国際貢献を図るため、国際的な人材育成と技術支援を実施しています。

この度、本市提案事業がJICA(独立行政法人国際協力機構)により、草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)として採択されました。今後、新たな重点課題とされている水道管路の維持管理に焦点を当て、同市の市民生活向上に取り組んでまいります。

1 提案事業概要

- ・事業内容 水道管路の維持管理に係る技術支援
- ・実施期間 令和3年4月～令和6年3月
- ・事業費 約4,950万円(JICA全額負担)
- ・支援体制 バンドン市への職員派遣(延43人)及び浜松市への研修生受入(延24人)
- ・主な活動 水道管路の点検状況の把握とPDAMバンドン[※]の指導者育成支援
マッピングデータの管理支援
維持管理計画作成支援

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
職員派遣 (20日間/回)	2回(延15人)	2回(延13人)	2回(延15人)
研修生受入 (12日間/回)	1回(8人)	1回(8人)	1回(8人)

海外派遣を通じたグローバル人材育成や技術継承による本市上下水道部職員の資質向上を図るとともに、研修生受入時には本市で活動している国際関係団体との交流も予定しています。

※PDAMバンドン(バンドン市フィルタウェニン地域水道公社)

2 本市におけるJICA事業の背景

PDAMバンドンの喫緊の課題は約40%にも達する無収水率の改善であり、その対策として、漏水探知・漏水修繕の技術習得と人材育成の強化支援を、JICA草の根技術協力事業を活用し、平成29年から3年間実施してきました。

また、令和元年6月に、浜松市とバンドン市で覚書(MOU)を締結した後、バンドン市からの技術協力要請に基づき、同年10月には、「バンドン市における水道管路の維持管理のための点検技術に係る技術支援に関する覚書」を締結し、今回の提案事業を実施していくことについて合意しました。

3 募集から採択までの経緯

令和元年 10月 募集要項公示
 11月8日 事業提案書の締切
 令和2年 3月11日 採択内定

※今後、JICAとの実施計画協議や相手国政府（実施期間）の了承取付等を経て、令和2年度中（令和3年3月まで）に業務委託契約を締結し、令和3年度から事業を開始する予定です。

【参考①】 JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）の制度概要

政府開発援助（ODA）の一環として、開発途上地域への技術協力活動について、JICAが資金提供を行う事業

実施主体	地方自治体、NGO、大学、公益法人等
期 間	最長3年
事 業 費	上限60,000千円（JICA全額負担、消費税込）
重視する点	地域が有する知見・経験・技術等の活用、地域活性化の促進など

【参考②】 浜松市とバンドン市における両都市の発展に関する覚書（MOU）

（抜粋）

<p>日本国・静岡県・浜松市とインドネシア共和国・西ジャワ州・バンドン市（以下「両市」とする）は、両市間での良好な提携や協力関係を促進することを強く望み、平等と相互利益の原則の重要性を認識し、2014年12月19日にバンドン市で署名した両市の基本合意書（LoI）を参照し、両国で優先する法律や規則に従い、次のとおり覚書を締結するものとする。</p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>第2条（協力の範囲）</p> <p>両市は、次に挙げる分野において協力し、両国の法律や規則に従い、本覚書を実施するものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 創造都市に向けた学術・文化・研究機関における連携促進 2 水道分野における人材育成 3 環境衛生分野における人材育成 <p style="text-align: center;">（以下略）</p>

【参考③】 バンドン市と浜松市の比較

区分	バンドン市	浜松市
人口	約250万人	約80万人
水道普及率	76.6%	96.8%
漏水件数	約20箇所／日	1～2箇所／日
有収率	62.3%	91.0%

※バンドン市：H30.7月時点/浜松市：H31.3月時点